

# 令和 3 年度 決算書

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 3 1 日

公益財団法人 日本自動車教育振興財団

# 貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度 令和3年度	前年度 令和2年度	増減	備考
<b>I. 資産の部</b>				
1. 流動資産				
現金預金	23,020,475	24,883,656	△ 1,863,181	
流動資産 合計	23,020,475	24,883,656	△ 1,863,181	
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
投資有価証券	959,384,900	959,384,900	0	
定期預金	2,640,000	2,640,000	0	
普通預金	975,100	975,100	0	
基本財産 合計	963,000,000	963,000,000	0	
(2) 特定資産				
役員退職慰労引当資産	1,208,000	708,000	500,000	
特定資産 合計	1,208,000	708,000	500,000	
(3) その他固定資産				
投資有価証券	10,000,000	10,000,000	0	
什器・造作	2	412,921	△ 412,919	
電話加入権	152,880	152,880	0	
敷金	5,128,815	5,128,815	0	
その他固定資産 合計	15,281,697	15,694,616	△ 412,919	
固定資産 合計	979,489,697	979,402,616	87,081	
資産 合計	1,002,510,172	1,004,286,272	△ 1,776,100	
<b>II. 負債の部</b>				
1. 流動負債				
預り金	5,954	4,757	1,197	
流動負債 合計	5,954	4,757	1,197	
2. 固定負債				
役員退職慰労引当金	1,208,000	708,000	500,000	
固定負債 合計	1,208,000	708,000	500,000	
負債合計	1,213,954	712,757	501,197	
<b>III. 正味財産の部</b>				
1. 一般正味財産	1,001,296,218	1,003,573,515	△ 2,277,297	
(うち基本財産への充当額)	( 963,000,000 )	( 963,000,000 )	( 0 )	
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )	
正味財産 合計	1,001,296,218	1,003,573,515	△ 2,277,297	
負債および正味財産 合計	1,002,510,172	1,004,286,272	△ 1,776,100	

**正味財産増減計算書**  
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当年度 令和3年度	前年度 令和2年度	増減	備考
<b>I. 一般正味財産増減の部</b>				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
・基本財産受取利息	26,745,061	24,270,709	2,474,352	保有債券の早期償還に伴い、より利率の高い商品に変更
② 受取会費				
・賛助会員受取会費	43,000,000	47,000,000	△ 4,000,000	賛助会費の一部減額
③ 受取寄附金				
・受取寄附金	6,000,000	6,000,000	0	
④ 雑収益				
・受取利息	457	531	△ 74	
・有価証券運用益	152,500	30,000	122,500	
経常収益 計	75,898,018	77,301,240	△ 1,403,222	
(2) 経常費用				
① 事業費				
1) 役員報酬	2,400,000	2,400,000	0	
2) 給料手当	9,904,830	8,355,848	1,548,982	技術専門スタッフ1名増員
3) 役員退職慰労費用	100,000	100,000	0	
4) 福利厚生費	1,556,795	1,565,878	△ 9,083	
5) 旅費交通費	1,489,664	179,047	1,310,617	小型EV特別講習の実施、教材贈呈式の一部実施
6) 通信運搬費	1,468,317	1,447,713	20,604	
7) 減価償却費	336,116	336,117	△ 1	
8) 消耗什器備品費	347,602	508,188	△ 160,586	
9) 消耗品費	485,327	359,152	126,175	
10) 賃借料	8,830,627	6,408,036	2,422,591	小型EV特別講習の実施、JAEF研修会の一部実施
11) 保険料	17,060	6,845	10,215	
12) 諸謝金	1,289,912	1,100,053	189,859	
13) 支払助成金	25,155,187	20,990,563	4,164,624	教材提供校数及び高額教材提供数の増加等
14) 支払寄附金	30,000	0	30,000	
15) 委託費	14,781,264	10,585,095	4,196,169	動画学習サイトコンテンツ制作、副教材デジタル化
16) 雑費	113,852	49,533	64,319	
事業費 計	68,306,553	54,392,068	13,914,485	
② 管理費				
1) 役員報酬	3,600,000	3,600,000	0	
2) 給料手当	1,285,306	1,276,752	8,554	
3) 役員退職慰労費用	400,000	400,000	0	
4) 福利厚生費	355,729	357,805	△ 2,076	
5) 旅費交通費	11,818	3,739	8,079	
6) 通信運搬費	166,564	150,678	15,886	
7) 減価償却費	76,803	76,803	0	
8) 消耗什器備品費	79,428	116,122	△ 36,694	
9) 消耗品費	110,898	82,067	28,831	
10) 賃借料	1,403,322	1,382,806	20,516	
11) 会議費	389,574	167,178	222,396	
12) 印刷製本費	0	99,330	△ 99,330	
13) 諸謝金	635,239	582,610	52,629	
14) 支払負担金	263,000	271,000	△ 8,000	
15) 支払寄附金	50,000	50,000	0	
16) 委託費	480,480	258,500	221,980	
17) 雑費	550,601	411,779	138,822	
18) 交際費	10,000	47,150	△ 37,150	
管理費 計	9,868,762	9,334,319	534,443	
経常費用 計	78,175,315	63,726,387	14,448,928	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,277,297	13,574,853	△ 15,852,150	
評価損益等	0	0	0	
当期経常増減額	△ 2,277,297	13,574,853	△ 15,852,150	
2. 経常外増減の部				
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 2,277,297	13,574,853	△ 15,852,150	
一般正味財産期首残高	1,003,573,515	989,998,662	13,574,853	
一般正味財産期末残高	1,001,296,218	1,003,573,515	△ 2,277,297	
<b>II. 指定正味財産増減の部</b>				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
<b>III. 正味財産期末残高</b>	1,001,296,218	1,003,573,515	△ 2,277,297	

正味財産増減計算書 内訳表

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			法人会計	合計
	自動車教育事業	共通	小計		
I. 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益					
・基本財産受取利息	18,721,543		18,721,543	8,023,518	26,745,061
② 受取会費					
・賛助会員受取会費	38,700,000		38,700,000	4,300,000	43,000,000
③ 受取寄附金					
・受取寄附金	6,000,000		6,000,000	0	6,000,000
④ 雑収益					
・受取利息	457		457	0	457
・有価証券運用益	152,500		152,500	0	152,500
経常収益 計	63,574,500		63,574,500	12,323,518	75,898,018
(2) 経常費用					
① 事業費					
1) 役員報酬	2,400,000		2,400,000		2,400,000
2) 給料手当	9,904,830		9,904,830		9,904,830
3) 役員退職慰労費用	100,000		100,000		100,000
4) 福利厚生費	1,556,795		1,556,795		1,556,795
5) 旅費交通費	1,489,664		1,489,664		1,489,664
6) 通信運搬費	1,468,317		1,468,317		1,468,317
7) 減価償却費	336,116		336,116		336,116
8) 消耗什器備品費	347,602		347,602		347,602
9) 消耗品費	485,327		485,327		485,327
10) 賃借料	8,830,627		8,830,627		8,830,627
11) 保険料	17,060		17,060		17,060
12) 諸謝金	1,289,912		1,289,912		1,289,912
13) 支払助成金	25,155,187		25,155,187		25,155,187
14) 支払寄附金	30,000		30,000		30,000
15) 委託費	14,781,264		14,781,264		14,781,264
16) 雑費	113,852		113,852		113,852
事業費 計	68,306,553		68,306,553		68,306,553
② 管理費					
1) 役員報酬				3,600,000	3,600,000
2) 給料手当				1,285,306	1,285,306
3) 役員退職慰労費用				400,000	400,000
4) 福利厚生費				355,729	355,729
5) 旅費交通費				11,818	11,818
6) 通信運搬費				166,564	166,564
7) 減価償却費				76,803	76,803
8) 消耗什器備品費				79,428	79,428
9) 消耗品費				110,898	110,898
10) 賃借料				1,403,322	1,403,322
11) 会議費				389,574	389,574
12) 諸謝金				635,239	635,239
13) 支払負担金				263,000	263,000
14) 支払寄附金				50,000	50,000
15) 委託費				480,480	480,480
16) 雑費				550,601	550,601
17) 交際費				10,000	10,000
管理費 計				9,868,762	9,868,762
経常費用 計	68,306,553		68,306,553	9,868,762	78,175,315
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,732,053		△ 4,732,053	2,454,756	△ 2,277,297
評価損益等	0		0	0	0
当期経常増減額	△ 4,732,053		△ 4,732,053	2,454,756	△ 2,277,297
2. 経常外増減の部					
当期経常外増減額	0		0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,732,053		△ 4,732,053	2,454,756	△ 2,277,297
一般正味財産期首残高					1,003,573,515
一般正味財産期末残高					1,001,296,218
II. 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0		0	0	0
指定正味財産期首残高					0
指定正味財産期末残高					0
III. 正味財産期末残高					1,001,296,218

## 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	708,000	500,000	0	0	1,208,000

以上

# 財 産 目 録

(令和4年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手許保管	運転資金	13,248
普通預金	普通預金 みずほ銀行東京中央支店、他	運転資金	23,007,227
流動資産合計			23,020,475
(固定資産)			
基本財産 投資有価証券	第60回20年国債、他	公益目的保有財産であり、運用益の70%を公益目的事業、30%を管理目的の財源として使用している。	959,384,900
定期預金	みずほ銀行東京中央支店	公益目的保有財産であり、運用益の70%を公益目的事業、30%を管理目的の財源として使用している。	2,640,000
普通預金	三井住友銀行本店営業部	事業遂行のために必要な財産であり、運用益の70%を公益目的事業、30%を管理目的の財源として使用している。	975,100
特定資産 役員退職慰労引当資産	定期預金 みずほ銀行東京中央支店	役員(常勤理事)の退職慰労金支払いの財源として積み立てている	1,208,000
その他固定資産 投資有価証券	ソフトバンクグループ第5回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債	運転資金	10,000,000
什器・造作	事務所内装(パーティション)	公益目的保有財産であり、公益目的事業および管理業務で使用している共用資産である。	1
	机・椅子等	公益目的保有財産であり、公益目的事業および管理業務で使用している共用資産である。	1
電話加入権	電話番号 03-5733-3841、他1回線	公益目的保有財産であり、公益目的事業および管理業務で使用している共用資産である。	152,880
敷金	住所 東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館事務所60平方メートル	公益目的保有財産であり、公益目的事業および管理業務で使用している共用資産である。	5,128,815
固定資産合計			979,489,697
資産合計			1,002,510,172
(流動負債)			
預り金	職員に係るもの	源泉所得税、雇用保険料	5,954
流動負債合計			5,954
(固定負債)			
役員退職慰労引当金	役員(常勤理事)に係るもの	役員(常勤理事)1名に対する退職慰労金支払いに備えたもの	1,208,000
固定負債合計			1,208,000
負債合計			1,213,954
正味財産			1,001,296,218

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

重要な会計方針は次のとおりである。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的の債券は、取得原価法によっている。
- ・その他保有目的の債券は、決算日の市場価額等に基づく時価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- ・該当なし。

(3) 固定資産の減価償却の方法

- ・有形固定資産については、定額法による。但し、従来減価償却をしていなかった資産については、平成22年度より旧定額法により償却している。

(4) 引当金の計上基準

- ・役員退職慰労引当金

役員(常勤理事)の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末支給額を計上している。

(5) リース取引の処理方法

- ・リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンスリース取引については、通常の貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(6) 消費税等の会計処理

- ・税込処理をしている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

・基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	959,384,900	0	0	959,384,900
定期預金	2,640,000	0	0	2,640,000
普通預金	975,100	0	0	975,100
小計	963,000,000	0	0	963,000,000
特定資産				
役員退職慰労引当資産	708,000	500,000	0	1,208,000
小計	708,000	500,000	0	1,208,000
合計	963,708,000	500,000	0	964,208,000

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

・基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
投資有価証券	959,384,900	0	959,384,900	0
定期預金	2,640,000	0	2,640,000	0
普通預金	975,100	0	975,100	0
小計	963,000,000	0	963,000,000	0
特定資産				
役員退職慰労引当資産	1,208,000	0	0	1,208,000
小計	1,208,000	0	0	1,208,000
合計	964,208,000	0	963,000,000	1,208,000

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

・固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器・造作(事務所内装)	1,445,588	1,445,587	1
什器・造作(机・椅子等)	2,477,520	2,477,519	1
合計	3,923,108	3,923,106	2

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

・満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
第60回 20年国債	98,300,000	101,060,000	2,760,000
第119回 20年国債	97,950,000	113,442,500	15,492,500
第120回 20年国債	198,400,000	223,638,000	25,238,000
第121回 20年国債	49,250,000	57,295,350	8,045,350
第172回 20年国債	5,075,500	4,810,000	-265,500
ゴールドマンサックスGr.ユーロ円債	10,409,400	10,141,000	-268,400
米ドル連動型仕組預金	100,000,000	100,000,000	0
米ドル連動型仕組預金	100,000,000	100,000,000	0
米ドル連動型仕組預金	150,000,000	150,000,000	0
米ドル連動型仕組預金	150,000,000	150,000,000	0
合計	959,384,900	1,010,386,850	51,001,950

(注)時価は、証券会社発行の期末の残高証明書及び取引残高報告書の参考時価を記入した。

なお、米ドル連動型仕組預金は個別組成した商品で一般に流通する商品ではないため、時価欄は簿価と同額。

以上



# 監査報告書

令和4年4月28日

公益財団法人 日本自動車教育振興財団  
理事長 内山田 竹志 殿

公益財団法人 日本自動車教育振興財団

監事 山崎幸雄 

監事 矢野義博 

私たち監事は、令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）における事業報告等、財務諸表等及び理事の職務執行状況の監査を行いましたので、次のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表等（貸借対照表、正味財産増減計算書、これらの附属明細書、財産目録）について検討いたしました。

## 2. 監査意見

- (1) 事業報告等（事業報告及びその附属明細書）は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 財務諸表等（貸借対照表、正味財産増減計算書、これらの附属明細書、財産目録）は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上